

春日部・東中学校 第2学年「国語」

【内容】

月	単元	教材	学習活動
4		明日	言葉の使い方や表現の特徴に注意し、自分なりの感想をもちながら読む。
		アイスプラネット	登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。
		季節のしおり 春	二十四節気言葉や、春を描いた古典の一節などを読み、伝統的な言語文化に親しむ。
5	1 広がる 学びへ	枕草子 [書く] 自分流「枕草子」を書こう	日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ
		説明のしかたを工夫しよう 目的や相手に応じて書く	目的や相手に応じて、伝える事柄の特徴や共通点・相違点などを明確にして、必要な情報を整理する。
		言葉1 類義語・対義語・多義語	類義語と対義語、多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意する。
		練習 要点を整理して聞き取る	目的や状況に応じ、話の要点や順序を整理しながら聞き取る。
6	2 視点を 定めて	やさしい日本語	情報の伝え方に関する文章を読み、構成や展開の工夫や、筆者の考えについて、自分の考えをもつ。
		練習 発表資料を工夫しよう	わかりやすい発表や説明を行うために、図表やグラフなどを活用して、効果的な資料を作成する。
		印象に残る説明をしよう プレゼンテーションをする	聞き手の知りたいことを想定して情報を集め、論理的でわかりやすい構成を考えて説明する。
		漢字1 熟語の構成	熟語の構成について理解する。
6	豊かな言葉	新しい短歌のために [書く] 短歌を創作しよう	短歌に示された語句の効果的な使い方や文章の描写の効果を理解し、情景を想像しながら朗読する。
		短歌十二首	
7		言葉を選ぼう もつと「伝わる」表現を目ざして [書く] 小さな物語を作ろう	似た気持ちを表す言葉を比べ、言葉のもつ意味について考え、語感を磨く。
		文法への扉1 単語をどう分ける？ →文法①自立語 (p220-223)	活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解する。
7	3 読書と情報 技を伝える	メディアと上手に付き合うために	メディアとの付き合い方について書かれた文章を読み、メディアについて知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。
		気になる「あの人」を探ろう メディアの特性を生かして調べる	メディアとの付き合い方について書かれた文章を読み、メディアについて知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。
		旅する絵描き——パリからの手紙	多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。
		五重の塔はなぜ倒れないか	多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。
		読書案内	多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。
		季節のしおり 夏	二十四節気言葉や、夏を描いた作品の一節などを読み、伝統的な言語文化に親しむ。
9	4 きずなを 読む	盆土産	方言や心情を表す語句の効果的な使い方を理解し、表現に即して優しさや温かさなどを読み味わう。
		字のない葉書	人物の言動や様子を描写した表現、心情を表す語句に着目して読み、その人柄や心情を捉える。
		言葉2 敬語	日本語の敬語表現の特徴について理解を深め、その使い方を身につけ、相手や目的に応じて言葉を工夫することの大切さに気づく。
		気持ちを込めて書こう 手紙を書く	伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して手紙を書く
		練習 相手の立場を尊重しよう	相手の立場を尊重し、自分の意見と比較しながら話し合う。
		季節のしおり 秋	二十四節気言葉や、秋の詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。
		君は「最後の晩餐」を知っているか	使われている言葉や表現の工夫などに注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取る。
10	5 いにしへの 心を訪ねる	音読を楽しもう 平家物語	冒頭部分を音読することで古文の表現に慣れ、古典の世界を楽しむ。
		扇的的——「平家物語」から	登場人物の心情を想像しながら作品を読み、古典に描かれたものの見方や考え方について自分の考えをもつ。
		仁和寺にある法師 ——「徒然草」から	描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、作者のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。
		漢詩の風景	漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。
11		練習 人物の特徴をとらえて論じよう	古典作品に登場する人物の特徴を捉え、伝えたいことを明確にして文章に書き表す。
11	6 論理を とらえる	話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする	社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、説得力のある意見を述べる。
		文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 →文法②用言の活用 (p224-229)	用言の活用について理解する。

12		モアイは語る——地球の未来 [書く] 事実を示して意見を書こう	各段落の役割や叙述の順序に注意して読み、内容を理解する。
		季節のしおり 冬	二十四節気の言葉や、冬を描いた作品の一節などを読み、伝統的な言語文化に親しむ。
		立場と根拠を明確にして書こう 意見文を書く	課題に対する自分の意見を決め、立場とそれを支える根拠を明確にし、構成を工夫しながら意見文を書く。
		漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	同音異義語など、読み方が同じでも、意味・用法の異なる漢字や熟語について理解する。
1		走れメロス [書く] 文章の形式を選び、表現のしかたを工夫して書く	文章の形式を選び、表現のしかたを工夫して書く。
2	7 自分を 見つめる	文法への扉3 一字違いで大違い →文法③付属語 (p230-236)	付属語について理解する。
		表現のしかたを工夫して書こう 視点を変えて物語を書く	気持ちや気持ちの変化が効果的に伝わるように、ある視点を定め、表現を工夫して書く。
		言葉3 方言と共通語	方言と共通語の果たす役割について理解する。
		漢字3 送り仮名	送り仮名の原則を理解する。
3		身近な人の「物語」を探る インタビューをして文集にまとめる	題材を決め、事実や意図が効果的に伝わるように、構成や表現を工夫して書く。
		言葉の力	筆者の考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。

【評価】授業の評価は次のような観点方法で行います。

評価の観点	評価の方法	評価の方法
関心・意欲・態度	国語に関心をもち、意欲的な態度で学習に取り組むことができるか。	授業態度・提出物
話すこと・聞くこと	構成を工夫して話しているか。 話し手の意図を考えながら聞いているか。	発表・話し合う様子
書くこと	構成を工夫して書いているか。	作文・感想文など
読むこと	様々な本や文章から内容や要旨を的確に捉えているか	定期テスト・ノート
伝統的な言語文化	古典や文法について理解を深めているか。	定期テスト・小テスト

【教材・テスト・学習方法】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・プリント…基礎基本の定着を図るためや、個に応じた学習のためのプリント</li> <li>・ワーク…基礎基本を身につけ、応用力を伸ばすための問題集</li> </ul>		
学期	テスト	提出物
1学期	小テスト・定期テスト	ノート・作文・感想用紙・硬筆・毛筆・ワークなど
2学期	小テスト・定期テスト	ノート・作文・感想用紙・硬筆・毛筆・ワークなど
3学期	小テスト・定期テスト	ノート・作文・感想用紙・硬筆・毛筆・ワークなど

<予習>

教科書を読む・意味調べ・漢字の学習

<授業中>

- ①授業準備（忘れ物をしない・チャイム着席）
- ②目的と意欲を持って授業に臨む（話す・聞く力能力、書く能力、読む能力を身につける）
- ③工夫してノートを作る

<復習>

その日に習ったことはその日のうちに確認する。漢字や言語の補充学習をする

